

防災品奏効事例

～大学祭における天ぷら油火災の事例～

札幌市消防局

日本防災協会では、防災品の使用と適切な初期消火行動などにより、火の勢いと延焼拡大を抑え、ご自身の安全と建物の被害をくい止めた事例を紹介しています。

今回は札幌市消防局管内での奏効事例をご紹介します。

平成30年6月、大学祭の露店内において、天ぷら油の入った鍋を火にかけて調理中、天ぷら油が過熱発火したもの。大学生が調理中に鍋から火が出ているのを発見した。

炎が立ち上がり、テントに接炎したが、テントが防災製品であったこと及び効果的な初期消火がなされたことから、テントの一部の溶融に留まり、延焼拡大に至らなかった。



初期消火の状況



テントの焼損状況